

～アジア各国の障がい者の方々に、学び、働く機会を～
「アジア障がい者支援募金」を贈呈

公益財団法人イオンワンパーセントクラブは、1月29日（火）アジア各国の障がい者の方々に対する教育・就労支援などを目的とした「アジア障がい者支援募金」を贈呈します。

3回目となる本取り組みでは、2018年11月15日（木）～12月16日（日）の期間、イオン各社の協力のもと、全国の店舗や事業所約7,500カ所で募金活動を実施し、お客さまから1,720万7,802円をお寄せいただきました。この募金に当財団からの拠出金等を加えた、総額3,084万7,005円を、認定NPO法人難民を助ける会（AAR Japan）に贈呈します。

贈呈式には、駐日ミャンマー連邦共和国トゥレイン・タン・ズィン大使をはじめ、カンボジア王国、ラオス人民民主共和国の駐日大使館の方々にご臨席いただきます。

この度の寄付金は、AAR Japanを通じ、カンボジアでの「インクルーシブ教育」※の推進や学校のバリアフリー化、また、ミャンマーやラオスにおいては、働くための技能や社会生活に必要なスキル習得をサポートする職業訓練の実施など、障がい者の方々の経済的・精神的な自立と、より積極的な社会参画に向けた支援に役立てられます。

当財団はこれからも、アジア各国の子どもたちの健全な育成と、地域社会の持続的な発展に寄与できるよう、さまざまな支援活動を行ってまいります。



工作の授業を受ける子どもたち（カンボジア）



理美容の職業訓練の様子（ミャンマー）

※子どもたち一人ひとりの多様性を尊重し、障がいの有無に関わらずともに学べることを目指す教育

「AAR Japan」について



AAR Japanは、1979年にインドシナ難民を支援する市民団体として日本で設立しました。これまでに60を超える国や地域で、自然災害の被災者や紛争による難民の支援をはじめ、障がい者支援、地雷対策などに取り組んでいます。

【贈呈式の概要】

1. 日 時：1月29日（火） 10時00分～11時00分
2. 場 所：認定NPO法人 難民を助ける会（AAR JAPAN）事務所
（東京都品川区上大崎2-12-2 ミズホビル6階）
3. 贈呈先：認定NPO法人 難民を助ける会（AAR Japan）
4. 贈呈額：3,084万7,005円
[内訳]
 - ①全国のお客さまからお寄せいただいた募金 1,720万7,802円
 - ②（公財）イオンワンパーセントクラブ拠出金1,279万2,198円
 - ③イオントップバリュ(株)による寄付 84万7,005円
5. 出席者： 駐日ミャンマー連邦共和国 特命全権大使 トウレイン・タン・ズイン閣下
駐日カンボジア王国 参事官 スイ テック 様
駐日ラオス人民民主共和国 公使参事官 ブンニョン・ブッタボン 様
認定NPO法人 難民を助ける会 理事長 長 有紀枝 様
（公財）イオンワンパーセントクラブ 理事長 横尾 博
イオントップバリュ(株) 副社長 横山 憲男

【公益財団法人イオンワンパーセントクラブについて】

当財団は1989年、イオンの前身であるジャスコの誕生20周年を機に、「絶えず革新し続ける企業集団として、「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオンの基本理念のもと設立されました。企業の業績にかかわらず継続的に活動するためグループの主要企業が税引前利益の1%を拠出し「次代を担う青少年の健全な育成」「諸外国との友好親善の促進」「地域社会の持続的発展」の3つを柱となる事業として、社会貢献活動を行っています。

公式アカウント

イオン1%クラブの活動をリアルタイムで紹介。



↑上のQRコードから友達追加

Q 1_percent_club で検索

Q 「AEON 1%」で検索

【ご参考】 公益財団法人イオンワンパーセントクラブの主な活動内容

◆次代を担う青少年の健全な育成に資する事業

<イオン チアーズクラブ>

地域の小中学生の環境保全活動を支援。毎年夏に全国大会を開催。

<中学生環境作文コンクール>

環境問題に関する作文を募集し、優秀な作文提出者は生物多様性研修に参加。

<AEON eco-1グランプリ>

全国の高校 及び高校生のエコ活動を顕彰し、エコ活動の輪の広がりを支援。

<学校建設支援>

アジア5カ国で子どもたちの教育環境の整備を支援。全国で実施した募金にほぼ同額を上乗せし、小学校校舎建設と附属設備の設置及び教員養成を支援。

<セーフウォーターキャンペーン>

学校建設を支援した地域で汚濁水を生活用水に使っている地域に、浄化した給水施設を設置することで子どもたちを健康面と教育面から支援。

【学校建設支援】



新校舎と子どもたち（カンボジア）



ミャンマー新校舎



新校舎で学ぶ子どもたち（ミャンマー）

◆諸外国との友好親善の促進に資する事業

<ティーンエイジ・アンバサダー>

海外と日本の高校生の相互交流活動。表敬活動、交流活動、歴史文化理解活動を通じ互いへの理解とグローバルな視野を持つことを支援。

<アジア ユースリーダーズ>

アジアの高校生・大学生が一堂に会し、開催地の社会問題への解決策を議論し政府へ提案することを通じ、各国の多様な価値観への理解を深めることを支援。

<イオン スカラシップ>

アジア各国で学ぶ大学生へ奨学金を給付し、次代を担う青年の夢の実現を支援。

【ティーンエイジ・アンバサダー】



首相官邸訪問



中国での授業体験



インドネシアで伝統舞踊体験

◆地域社会の持続的発展に資する事業

<ふるさと未来支援>

日本各地に伝わる固有の伝統的な文化・工芸・芸能の継承と普及を支援。

<災害復興支援>

大規模自然災害に見舞われた地域の人々を支援。

<公益法人への支援>

当財団の設立主旨に副う活動を行う公益法人を支援。

【ふるさと未来支援】



よさこい祭り



イオン ふるさと発信伝



イオン すくすくラボ

* 活動の詳細内容はこちら (<https://www.aeon.info/1p/>) をご覧ください。